



### 沼の内に 用水池

豊間村大字沼ノ内部落は附近に水利の便なく、火災其他の場合に手の下し様もない現状である。この過般來同村消防組第三部小頭鈴木文十郎氏等が用水池設置の計画中であつたが、愈々新街に三ヶ所、濱町に二ヶ所の用水池を掘る可く協議を重ねた結果、鈴木文十郎氏等に寄附した土地を同字鈴木徳次郎氏が寄附したので、其處に用水池を設置した。尙ほ鈴木文十郎氏は沼ノ内、辨財天の水を一朝事ある場合に使用するやう計画中である。

### 藤田氏令息逝く

町田町藤田女學校校長藤田榮助氏令息榮一君は胃腸を病み静養中の處六日午後四時四十五分遂に長逝した。葬儀は九日午後二時自宅出棺の上天理教會にて神式により執行する。

### 新年所感

正月になつたから、急に世の中が革まるといふ道理は無いのだが、多くの活動する人たちに取つては、この休息の三日間で無ければかういふ六か月の問題はとも考へ居られない。久しぶりに相會する親族故舊、それは單に杯酒の間の漫談であるにしても、尙前年以來の時運の變を感ぜしむるに十分であり、人は之に基いて翌次の一年間に對する處世觀を立て直して行くのである。この意味に於いて日本の正月は、永く國民生活の上で大切な役目を持つて居る。新年には若もちの欠くべからざる如く、また新しい希望が

入用である。然らば大正の第十五五年に向つては如何なる希望が多數の人心を博し得るであらうか。古風なる正月の祝言では、之を要するに現状維持、即ち平安無事を以て理想として居たが、今日はそれで承知し得ない者が既にうんとある。第一に先氣六か月の宿老たちは、頻に社會の墮落を説いて居る。未だ嘗て實行し得べき改良案をも示さずして徒らに悪化の實例のみを指摘しようとする。その半分以上は取越苦勞かと思はれるが、是もまた無視することが出来ぬのである。第二には今一段と氣力ある若者の間に、人の爲若しくは自分の爲めにもつと明るくかつ楽しい生活を計畫して居る者も多數である。假に事實において不満不平を抱きつゝ、更にこの一年を辛抱すべきであつても、義理にも現状維持を納得する譯には印刷物は、加納活版所

## メリヤス特價

- 大人メリヤスシャツ 六十錢ヨリ
- 子供 シヤツ 四十錢ヨリ
- ラクダヨットシヤツ 二圓五十錢ヨリ
- 大人肉ジユパン 七十五錢ヨリ
- 毛オーバセーター 二圓五十錢ヨリ
- 絹 天 足 袋 二十五錢
- 毛 イ シヤツ 三十錢
- 毛 糸 腰 卷 一圓四十錢

## 山家ヤスリ店

平町一丁目(電話六〇五)

神戶海上運送火災保險會社  
東洋海上火災保險會社  
共保生命保險株式會社  
平代理店

貸家案内 貸地案内

- 柳町 勤人向 八五〇 平町舊城跡、本九二ノ九
- 五丁目 同 四、五〇 平町大町、八幡小路
- 白銀町 同 一四、〇〇 柳町、内郷村線停車場附近
- 内郷村小島 同 一、二〇〇

## 加藤丈夫營業所

平町白銀町(電話三三番)



金印半天專門  
優秀品の証明  
草野染工場  
磐城平町  
電話三四八番

## 吉田眼科醫院

平町紺屋町  
電話六八番

## 鎮咳祛痰



六味地黃丸  
滋陰補腎丸  
補腦汁  
滋陰補腎丸  
補腦汁  
滋陰補腎丸  
補腦汁

平町紺屋町(縣社通り)  
電話四六〇番

## 三井吳服店

平町三丁目  
電話三十八番



福島縣平町  
山崎合名會社  
電話(營業部専用)一〇番  
振替東京一九七五五番  
上野車坂四三二  
東京支店  
電話(下谷)五七一三番  
振替東京六八三一二番

## 鐵筋コンクリート 住宅商店事務所 設計監督請負

平町田町  
丸山喜一郎  
電話六二番

良品廉賣に勝る商略なし!!!  
和洋銅鐵  
金物問屋  
磐城セメント會社特約店  
釜屋商店  
磐城平町 電話一九三九番

確實敏捷は久の生命なり!!!

長男榮一儀病氣の處養生不相叶  
今六日午後四時四十五分死去致  
候間此段御通知申上候也  
追て葬儀は來る九日午後二時自宅出棺平町  
天理教會墓所に於て神式を以て執行可仕候  
一月六日

父 藤田榮助  
親戚總代 藤田彦七  
同 小齋五郎  
同 鈴木熊治  
友人總代 山崎清三